



平成 29 年 6 月 23 日

尻別川の減災に関する取組を北海道管理区間にも拡大

～「第3回 尻別川減災対策協議会」を開催します～

一級河川尻別川で、氾濫が発生することを前提として、社会全体で常に洪水に備える「水防災意識社会」を再構築することを目的とし、市町村、北海道、国等からなる「尻別川減災対策委員会」を「尻別川水防連絡協議会」に設置し、平成28年8月に「尻別川の減災に関する取組方針」を取りまとめたところです。この「減災に関する取組方針」を北海道管理区間にも拡大し、減災に向けたハード・ソフト対策について一体的・計画的に取り組むため、上記協議会を「尻別川減災対策協議会」に改組し、このたび下記のとおり協議会を開催いたします。

記

- 開催日時 平成29年6月27日（火） 13時00分から（1時間30分程度）
- 開催場所 後志総合振興局 講堂（倶知安町北1条東2丁目）
- 議事（予定）
 - ・「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく北海道管理河川の取組
 - ・改正水防法に基づく組織の改定
 - ・北海道管理区間の水害リスク情報や取組状況
 - ・減災に関する取組方針の実施状況（フォローアップ）
- その他 会議は取材可能ですが、カメラ撮影は会議冒頭部分のみとしております。会議での配付資料等は後日、小樽開発建設部のホームページに掲載します。これまで開催した「尻別川減災対策委員会」の会議資料等は、以下のURLでご覧いただけます。

<http://www.hkd.mlit.go.jp/ot/koumu/vu2tjq0000000oym.html>

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 小樽開発建設部

工務課長 村上 勝（電話0134-33-0525）

工務課長補佐 稲澤 豊（電話0134-33-0525）



小樽開発建設部ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp/ot/>

尻別川減災対策協議会 設置趣旨

平成27年9月関東・東北豪雨では、流下能力を上回る洪水により利根川水系鬼怒川の堤防が決壊し、氾濫流による家屋の倒壊・流失や広範囲かつ長期間の浸水が発生しました。また、これらに住民の避難の遅れも加わり、近年の水害では例を見ないほどの多数の孤立者が発生する事態となりました。今後、気候変動の影響により、このような施設の能力を上回る洪水の発生頻度が高まることが懸念されています。

こうした背景から、平成27年12月10日に社会資本整備審議会会長から国土交通大臣に対して「大規模氾濫に対する減災のための治水対策のあり方について～社会意識の変革による「水防災意識社会」の再構築に向けて～」が答申されました。

本答申においては、氾濫が発生することを前提として、社会全体で常にこれに備える「水防災意識社会」を再構築する必要があるとされています。また、そのための施策として、関係者が連携して避難に関する計画の作成や水防等の減災に関する様々な課題に対応するための協議会等の仕組みを整備する等、円滑かつ迅速な避難の実現、的確な水防活動の推進等を図るための取組を進めるべきとされています。また、平成29年6月19日には「大規模氾濫減災協議会制度」を新たに盛り込んだ改正水防法が施行されました。

このことを踏まえ、減災のための目標を共有し、ハード対策とソフト対策を一体的、計画的に推進し、社会全体で常に洪水に備える「水防災意識社会」を再構築することを目的とし、河川管理者、北海道、流域自治体等からなる「尻別川減災対策協議会」を水防法第十五条の九に基づき設置するものです。なお、これにより事業が引き継がれる「尻別川水防連絡協議会」は発展的解消とします。

尻別川減災対策協議会 名簿

| | |
|------------|----------------|
| 小樽開発建設部 | 部長 |
| 後志総合振興局 | 局長 |
| 蘭越町 | 町長 |
| 二セコ町 | 町長 |
| 真狩村 | 村長 |
| 留寿都村 | 村長 |
| 喜茂別町 | 町長 |
| 京極町 | 町長 |
| 倶知安町 | 町長 |
| 札幌管区气象台 | 台長 |
| 北海道旅客鉄道(株) | 札幌構造物検査センター所長 |
| 北海道電力(株) | 倶知安水力センター所長 |
| 倶知安警察署 | 署長 |
| 陸上自衛隊 | 北部方面対舟艇対戦車隊 隊長 |
| 羊蹄山ろく消防組合 | 消防長 |